滿洲日報

本紙代價: 一枚 四錢 一ケ月前金 八十錢 半ケ年仝 四圓八十錢 一ケ年仝 九圓六十錢 郵稅無料

廣告料: 五號活字十九字詰一行一回二十錢 四號活字十四字詰一行一回三十錢 二號活字九字詰一行一回四十錢

清國營口中盛街(電話二九番) 滿洲日報社

本報價目: 一張 四分 一月 八角 半年 四元八角 全年 九元六角

告白刊例: 一行五號十九字 一日者每行二角 每日每行一角五分登十日者 每日每行一角登一月者 每日每行一角登長年者 價目面議

列車發着
金州 發着 三十里堡 發着 普蘭店 發着
熊岳城 發 蓋平 發着 大石橋 發着 海城 發着
奉天 發着 虎石臺 發着 新臺子 發
昌圖 發 開原 發着 鉄嶺 發着 新臺子 發着
遼陽 發着 鞍山站 發着 海城 發着
得利寺 發着 瓦房店 發着 普蘭店 發着
大連旅順間 下り
旅順 發前 長嶺子 發着 營城子 發着
旅順線 上り 下り 營口發前 大石橋着 蘇家屯發
注意 一、乘車驛南關嶺南關嶺昌圖間各驛より旅順線各驛行のもの及同樣各驛より南關嶺昌圖間各驛行の者
一、乘券購入の際は混雜を防ぐ爲め錢に切上げ徴收す
一、金は過不足にき標注意すへし
一、此料金は軍用手票を標準とし計算徴收す

特別廣告
資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱 神戶 東京 長崎 大阪 倫勤 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 漢口 天津 北京 大連 旅順 奉天 遼陽 芝罘 鐵嶺 安東縣
横濱正金銀行 牛莊支店
(電話十番支配人室)(百八番事務室)

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
●山東丸 二十三日 太沽芝罘門司神戶行
●横濱丸 大連出帆 三十日午后一時 門司宇品港神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行 (電話二六番)

大阪商船株式會社
汽船營口出帆廣告
●勝山丸 廿日門司横濱行
●潮州丸 八月二十三日入港
營口公園地横(電話二十三番) ブラシユ兄弟商會 代理店 遠來洋行

瀛船出帆廣告
●万成源 廿一日天津行
●仁義丸 廿一日芝罘行 廈門、汕頭行
松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話(五二)(五七)

新着荷 松角材
松茂洋行商品部 (電話五二番)

營業項目
一定期預金(長期存欵) 三ケ月 五分 六ケ月按年五分五厘 一ケ年 六分
一當座預金(暫存欵) 按年 四分五厘 日步 一錢二厘三毛
一小口當座預金(零碎暫存欵) 按年五分一厘 日步一錢四厘一毛
一送金爲換取組先(滙兌) 東京、横濱、大阪、神戶長崎、上海天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金(放利)
一般財産並に土地建物の管理を引受くることと不動産抵當貸附金の委託を引受くること
一附帶ノ業務
軍政署認可
正隆銀行
本行受入の貨幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尚近々の内過爐銀の取引をも開始可致候
營口西北街第二百三十號(日本人會西隣) 支配人 深水十八 (電話二百十番)

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道邊運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周群偉可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧爲榮幸之至 總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話(店一八三番)(住所五五番)

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麪糖煤雜貨發行並匯兌銀錢彙代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寛大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚機租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是有 總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
保裝運各幇火輪船生意彙賣各幇洋什貨糧石等此僅 營口西大廟街路北警乙第十三號

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家綿自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議 營北街東 西義順棧內 西櫃(電話九十五番) 東部(電話九十八番)

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙 朝日(紅旭牌)大和(雲花牌)敷島(蓬島牌)媢嫣唎(軍旗牌)隆佑來福(雙仙鶴牌)利利(百合花牌)捷利(櫻花牌)斯達(星象牌)哥耳天巴德(蝙蝠牌)等九種及煙絲各樣 東營口西北街(舊代代木公司) 日本官煙營口專賣處

SP 糸平公司
本舗在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品皆美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綿布 其他一切織物概行發賣並特約販賣(正日光)皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告 營口元神廟南邊路西 朝日ビール特約大販賣 (電話百九十二号)

志岐組
本組開設營口紋定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸 本主人謹白

三井
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
電話 第六十六号 第九十一号

倉庫部
○發售新到洋白糖
今回倉庫所在地(靑堆子精搗場上隣河岸)取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候 (電話百二十八号)

經理部
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議
○發售 日本白米
○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、上海、香港、倫敦、孟買、天津、新加坡、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨匯集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹朱斐章郭漁笙先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亭內面議可也
營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂爲天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已諸公賜顧請 駕臨大德亭內面議不誤
洋行 王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓
電話 第六十六号 第九十一号

●印判彫刻 ●ゴム印 ●活版名刺 ●各色印肉 インキ 附屬品一式
各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名到着候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候 御報知次第店員參上仕候
刻字舖 營口永世街三十七号 尾崎洋行
奉天小西關大街二七八号南側 尾崎洋行分店

當店支配人中村錠太郎本店へ轉任井上一男支配人に就任仕候間此段廣告仕候也
明治三十九年八月十五日 横濱正金銀行 牛莊支店

拜啓今般歸朝仕候に就ては一々拜趨御暇乞可仕筈の處匆忙の際其意を得ず缺禮仕候段不悪御海容被下度右乍略儀新紙を以て御挨拶申上候敬具
明治三十九年八月十六日 中村錠太郎

安東縣市場通七丁目 合資會社 秋田商會支店
麥粉、白糖、白米、玻璃板、
洋鐵鋼 亞鉛板、鐵線、洋釘類、
建築土工用具及船具類
其他諸機械ノ製作修繕
安東縣東大街 合資會社 秋田商會支店

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候
元神廟街二四九 (電話三番)
精乳軒牛乳販賣所

㊞ 鐵道遼河 裕和盛運輸局 (電話八十一号)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本号向在日本長崎城設數十年開店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨各車站均設分局格外周到不悞主顧 總司理人 周鶴雲謹 運輸部主任 高濱麟太郎啓

徽州 怡昌祥茶號
本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙芽名茶色香味與衆不同加工揀焙重賀徽郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤 怡昌祥主人謹白寓營口恆利德

志岐組木料棧 材料出售
啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊粟包棉紗紙草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東淸鐵道轉運行專代各裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街(電話十八號) 牛家屯車站(電話四十六號) 既設分局 遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街 第五號門牌便是

●銃砲火藥販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也
官許商 秀淸洋行 鐵嶺東門大街

齒科治療廣告
啓者本醫士現將已前之療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治病分兼有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
遼陽西街六十九號 齒科醫士 德平盛剛

遼陽州官設醫院告條
一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取現銀隨意
一若有願蠲免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規資一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一每逢慶節及禮拜日一概休辦

牙大夫學士兒島醫院
DENTIST. Dr. S. KOJIMA.
大日本齒科醫會部長 日本齒科學會評議員 ●營口元神廟街●
告白
啓者本院主從來於森醫院齒牙科治療從事近時感其狹隘因別卜居開院新式諸器械完備無遺專足於救治牙疼之術齲齒金銀充塡補缺落齒補入妙技矣且齒牙疾患者希咀嚼必要欲皓齒金光燦爛美良者速來方知本院主神秘妙技焉執事
◎語曰 齒全壽長 ●來訪者兒島二字要注意

退隱の辭

稻垣伸太郎

滿洲日報の功臣たる予れは、此に本日本紙を以て退隱し、暫く閑道に就かんとす。顧れば去年秋九月始めて執筆の辭を草してより茲に一年、未だ抱負の一端をも吐露するに至らずして、別を讀者に叙せざる可らざるに至れる、本懷に負く極めて多しと雖も、而も昭代の逸民と爲りて太平を謳歌し、幸に事無きを得たるもの、以て其力を多とするに足る。今や我社は創立滿一週年にして大發展を行ふの機會に逢着し、編輯の組織亦多少の變更を見るに當り、創業の老臣たる予れは、此に骸骨を乞ふて暫く風塵の營口を去り、山水の間に放浪するの恩典に浴しぬ、新陳代謝は社會進步の理勢とする、則ち予れの去る、亦我社發展上に於ける自然の經路ならずや。然れども予れの營口を去る、必ずしも日報社と相離るゝの謂にあらず、故に退隱と謂ひて退社と謂はず、重ねて微力を或方面に致すの時機の必す之れあり、再び讀者と相見ゆるの光榮を有せんとす、以て告別の辭と爲す。

奉天電報

（十八日午後零時二十分發電）

奉民線營業開始　奉天新民府間鐵道は二十六日より營業を開始し毎日二回列車を運轉する亊に決定したり

雜報

伏見若宮殿下　伏見宮博恭王殿下には軍艦浪速副長として目下第二艦隊中に御勤務在らせらるゝが不日一先づ御歸京相成り更に十月初旬を以て支那近海を御巡航遊ばさるべく尙ほ皇族の御資格を以て淸國皇室を御訪問あらせらる筈なりと仄聞す

露國新內閣　露國內閣に新たに三大臣を任命したるが前ウヰツテ內閣の時會計檢査院長たりしフヰロソフオー氏は商務大臣に、大地主のワツシル、シコクフ氏は農務大臣に、外務大臣イスウオルスキー氏の兄弟なる人は敎務院總裁に任せられたり此の三人は改革に熱心なる人なりといふ他の大臣は現任の儘留任す

日人殺害問題　桑港來電によれば米國の輿論はセント、ポール島に於て殺害されたる日本人にして抵抗を試みざりしが事實ならんには米國は當然償金を支拂ふの義務ありと認めらる又た侵略者も抵抗せざる限り漁場監視者は之れを殺すの權利なしとは國際法學者の明言する所なり而して此の事件が日米間の國際問題たらざるべきは一般に認むる所なりと

各地海軍工廠　目下各地の海軍工廠は戰利艦の修理改造と新艦の建造とにて非常の大繁忙を極め居れり左の如し

▲吳海軍工廠　筑波、生駒（艤裝）安藝、伊吹（建造）石見（修理）
▲佐世保同工廠　利根（建造）肥前、津輕（修理）
▲舞鶴同工廠　丹後、阿蘇（修理）
▲橫須賀仝工廠　薩摩、鞍馬（建造）相摸、周防、宗谷（修理）

滿韓邦人敎育と敎員　文部省普通學務局長は關係所に左の如き通牒を發したり

淸韓其他の外國に居住する本邦人の普通敎育に關しては右關係官廳又は居留民等に於て各相當の施設を爲し專ら普通敎育の普及を企圖せられつゝあるも敎員聘傭等に就ては常に不便困難を感ずる事尠からざる趣に有之候所在外本邦人の子弟に對する國民敎育の忽諸に附すべからざるは論を待たざるに就き相當保護を與へたき見込に候條右官廳又は居留地等より敎員傭聘方申出相成候場合は特に便宜を與へられ候樣致たく尤も右の場合に於て現に小學在職の敎員にありては小學校令施行規則第百二十七條に依り休職上申相成候はゞ認可相成るべき條規に有之候條右併せて御含相成たく大臣の命に依り通牒す

漁夫問題と日本の態度　日本大使館は米國國務省に對し何等の提示をなさず宮岡參事官は唯該事件の報告を得るため國務省を訪問したるのみ同省は參事官に向つて當時恰もアラスカにありし商務勞働省のソリシターたるシム氏の報告を示したり而して右報告と同一なるものは國務省より東京駐在米國大使ライト氏にも送附されたりといふ

支那と萬國郵便　伯林通信に依れば淸國は今回萬國郵便條約に加盟する旨申込みたりと

行賞結了期　陸海軍々人に對する卅七八年戰役論功行賞は來十一月三日の天長節までに悉皆結了を告ぐる豫定なるを以てその方針にて着々調査を進行せしめつゝあり、尤も御裁可奏請の前に一應議定官の議に附する手續なるも目下炎暑に際し各議定官は病氣或は地方に避暑旅行等をなし各所に散在せるもの多く爲に會議に多少の日子を要するより自然上奏の延期となりその結果調査の捗取るに拘らず行賞發表の遲延を來す次第なれど出來得る限り事務の進行を圖り豫定の期日を誤らざる見込なりと

關東都督府の經費　關東都督府官制は來九月一日より實施せらる筈なるが官制の示す如く一體に其規摸現在の關東總督府よりも大なれば其經費亦少からず增額する由にて九月より來年三月末日迄の歲出豫算は約三百萬圓を計上すべく豫備金より支出せらるべしと

參謀次長更迭說　福島參謀本部次長は遠からず某要職に轉じ其後任として陸軍省軍務局長宇佐川中將若くは戰時中の參謀本部次長たりし長岡少將轉ずるならんとの說あり

引揚後の三笠艦　十日海軍省に達したる報告に曰く其後三笠は艦底及び小區劃內の排水と物品取出し中にあり仝午前七時機關室諸啣筒使用に堪ゆるを認め既に使用中の者あり又前鑵三つに點火し汽力百五十ポンドにて使用準備中彈藥石炭等前十二斤砲門より取出中、入渠迄は尙時日を要す

滿洲の官煙

（大連專賣局主任赤間事務官談）

▲大藏省は競爭せず　煙草專賣局の所謂專賣權を有するは內地に於て而已なれば海外に在ては總べて日本商人の手に任せ只大藏省は之等に賣下げをなすに過ぎずして夫れ以上自ら立入りて營業するものにあらず然るに世間にては非常の誤解をなして大藏省が直接英米煙草會社と對抗の地位に立てる如く思へるは心外の至りなり唯大連に出張所を設けしは內地製造の煙草を大連まで運び同地に於て下渡すてとゝなりしが爲めにて他に何等の意味あるなし

▲日本葉煙草は獨占　尙一般に混同せるは煙草には外國葉（兩切り）と日本葉（口付き）とあるに拘らず此兩者を一に見て孰づれも米國煙草の壓倒を受け居る如く誤解せるも純粹日本葉即ち兩切り煙草は本邦の特產にして未だ外國に製造せられざるにより此兩切りは仝く獨占の有樣にて特に近來は淸國人及び韓國人間に大に愛翫せられ隨つて賣上高も非常に增加しつゝあり

▲外國葉煙草の競爭　即ち競爭の激甚なりと云ふは此洋煙にして相手は世界獨步の大煙草トラストたる英米煙草會社にて上海を策源地となし北京天津は勿論今や滿洲地方にも大に其勢力を伸長しつゝあり然るに日本商人は資本僅少にして到底之等に對抗すべくもあらざれば競爭に於ては同日の談にあらざるべし只小賣價格の一點に於ては日本品廉にして低廉なるにより對抗の餘地なきにあらず現に今日に在りては賣上高も尙減少せず今其小賣價格を比較すれば左の如し

一、日本煙草

リリー	三錢三厘より三錢五厘
チエリー	三錢三厘より四錢
スター	四錢
ロングライフ	三錢三厘より三錢五厘

一、米國煙草

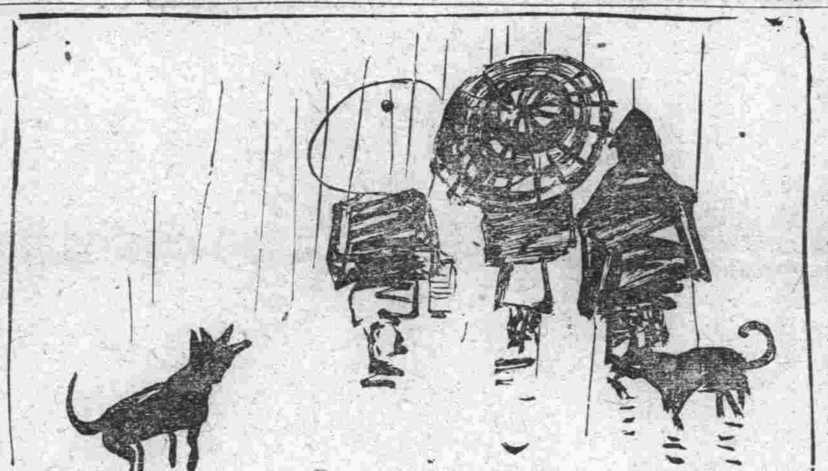
ピーコツク	五錢
ピンヘツト	五錢
オールドゴールド	五錢
オールドリツプ	五錢
アウトカー	四錢より四錢五厘
ルースター	（五本入七袋）十錢
オールドフホツシユ（口付洋煙）	同十錢
ハーロー	四錢より五錢
ヒーロー	四錢より五錢

▲口付煙草の販賣高　昨年八月以降本年五月末までの千分比例を取れば左の如し

八月	、八二四	一月	、五八〇
九月	、五四二	二月	一、〇〇〇
十月	、六〇九	三月	、八〇二
十一月	、九八五	四月	、七四二
十二月	、八二一	五月	、九〇五
平均	、七八一		

右の中九月十月の賣高減少せしは商人が軍隊引上げを氣搆へて仕入れを控へしが爲めにて二月以降に增加せしは支那人が愛喫し始めし爲めなり

▲之を要するに　戰時中は總べての交通遮斷せられしにより外國煙も密輸入以外には滿洲に入る能はず隨つて和洋兩種共に日本製煙の獨占舞臺なりしが平和克復して愈〻門戶も開放せらるゝに至りたれば茲に外國煙入り來りて我が販路を侵蝕し始めたるものにて彼等は資本の大なるに任せ大に其比



營口八景　其四　公園の夜雨

滿鐵設立命令書

第一條　其社は明治三十八年十二月二十二日調印の本社に關する日淸條約附則協約に依り左の鐵道の運輸業を營むべし
大連長春間の鐵道、南關嶺旅順間の鐵道、大房身柳樹屯間の鐵道、大石橋營口間の鐵道、烟臺と烟臺炭礦間の鐵道、蘇家屯撫順間の鐵道、奉天安東縣間の鐵道

第二條　現狀の鉄道は會社の營業開始の日より起算し滿三ケ年以內四呎八吋半の軌道に改修すべし

第三條　其社は沿道市場の停車場に旅客の宿泊、糧食及び貨物の遞送に必要なる諸般の設備をなすべし

第四條　其社は鐵道の便益の爲め左の附帶の事業を營むことを得
一、鑛業殊に撫順及烟臺の炭鑛採掘
一、水運業
一、電氣業
一、主要なる鐵道貨物の委託販賣業
一、倉庫業
一、鐵道附屬地に於ける土地及び家屋の經營
一、其他政府の許可を受けたる營業

第五條　其の社は政府の許可を受け鐵道及び附屬事業の用地內に於ける土木、敎育衛生上に關し必要なる設備をなすべし

第六條　前條の經費を支出するため其の社は政府の認可を得て鐵道及び附屬事業の用地內の居留民に對し手數料を徵し其の他必要なる費用の分賦をなすことを得

第七條　其社の資本總額を二億圓とし內一億圓は帝國政府の出資となす

第八條　前條政府の出資は佐の財產よりなるものとす
一、既設の鐵道
一、其の鐵道に附屬する一切の財產但租借地內の財產にして政府の指定せるものは之を除く
一、撫順及び烟臺炭鑛

第九條　政府に於て烟臺炭鑛に使用せる車輛及び奉天安東縣間に於ける輕便鐵道の軌道及び附屬品は相當の價額を以て之を其の社に賣渡すべし

第十條　政府の持株以外の株式は日淸兩國人より之を募集すべし
淸國政府に於て株式の引受を希望するときは其の社は是れに應ずべし

第十一條　該營業年度に於ける其の社の利益配當が日淸兩國政府以外の株主（以下單に株主と稱す）の拂込に對し年六分の割合に達せざる時は政府は設立登記の日より起算し十五箇年間（一年を二營業年度に分つ時は三十營業年度間）を限り之を補給すべし
但其の補給割合は如何なる場合と雖も株主の拂込金額に對し年六分の割合を超過するを得ず

第十二條　該營業年度に於ける其の社の利益配當は必ず株主の拂込金額に對し年六分の割合を超過せざる時は政府の持株に對しては配當をなすを要せず淸國政府の持株は帝國政府の持株に準して之を扱ふべし

第十三條　其の社は鐵道の改築又は附屬業の經營の爲め發行する社債及び該社債を整理償還する爲め發行する社債に對し其の利子支拂の保證をなし尙ほ必要なる時は元金支拂の保證を爲すてとを得べし政府に於て保證を爲すべき社債の額面金額は常に政府の引渡に屬したる株式總額中より其の拂込金額を控除したる殘額を超過するてとなし第一項の社債起債の日より起算し二十五箇年以內に償還するものとす

第十四條　前條第一項の趣旨により發行する社債に對しては其の拂込み登記の翌月より政府は其の社債の利子に相當なる金額を補給す
株主の拂込金に對する利益配當年六分の割合を超過するに至りし時は其の超過金額は先づ社債の利子に充當すべし此の場合に於ては前項補給金は該充當額を控除して算定す

第十五條　其の社の利益は前條の社債利子を支拂ひ尙ほ剩餘ある時は該殘額は總株式の拂込高に對し配當割合金に至る迄兩國政府持株に配當すべし

第十六條　第十一條及び第十四條に規定せる政府の補給金は是れに年六步の割合にて利子を附し之を每年元金に加算し政府に對する其の社の債務とす
其の社の總株式に對する利子配當が年一割の割合を超過するに至りし時は其の超過額は前項債務償還に充つべし

第十七條　第十三條の社債拂込金の使用殘額は大藏省預金部に預入すべし

第十八條　其の社は每年拂込むべき株金及び募集すべき社債の豫算債券面額發行額利子部合發行期日償還期等を定め政府の認可を受く可し

第十九條　其の社の會計及び營業に關する規定を定め政府の認可を受くべし
定欵變更の時又前項に同じ

第廿條　該營業年度の事業計畫事業費及び收支の決算幷に利益配當割合は政府の認可を受くべし

第廿一條　其の社は政府の指定する所により左の事項を報告すべし
一、事業費及び營業收支の現況
一、一般事業の實況

第廿二條　其の社は政府の許可を得るにあらされは重要なる權利財產を處分し又は擔保に供するを得す

第二十三條　政府は必要と認る場合に於ては特別の事情あるものに限り運賃の低減を命ずることあるへし

第二十四條　政府は必要ありと認るときは其社の事業に關し設備の新設及び變更を命することを得

第廿五條　其の社は政府の指定する所により何時にても鐵道土地其他物件を政府の爲に提供するの義務を負ふ

第廿六條　本命令書中利子の補給及び支拂に關する條項は帝國議會の協贊を經て確定するものとす

新民府の近狀

▲新民屯は戰爭當時は一時隆盛を極めしも目下の居留民は大ひに減し先つ四五十人位なりと然れども是れ却て新民屯𦾔然の現象にして敢て怪むに足らす有体に云へば同地の秩序の漸次緒に就きたる証據といふべし▲建築中の長官々舍　郵便局は本月中には完成の見込の由▲店舖は吉備公司茂信公司赤心社等にして何れも雜貨屋外に二三の藥店あり▲料理店は三軒斗りにして一軒のビヤホールもあり▲宿屋は日本人會附屬の旅館第一等の由右は下條副官が非常に盡力せらるゝ結果にて設備の完全なる事は奧筋に其比を見ずといふ▲奉天行きの停車場は巨流河と云ふ所にありて此處まで三哩は十キロを要す▲目下外人三四名居るも餘り富有の者にはあらさる由▲市況は近在の川氾濫する時機故暫く不振なるも來月に至らは挽回せらるゝならん

禁酒講話（遼陽）　今十九日（日曜日）午後八時より遼陽基督敎靑年會に於て中村軍醫の禁酒に就ての講話ある筈なるが尙同遼陽禁酒會　例會は去る十五日午後八時より靑年會に於て開會し紀念繪端書等の配附ありて頗る盛會なりしといふ

營口取引所設立の成行　本年二月其筋より設立の認可を得たる營口取引所は滿韓公司、辻、木村の諸氏に依り其設立準備に着手せられ居りし所交涉の結果大坂の磯野、古門、和久、桃井の數氏更らに追加發起人となり資本金拾萬圓となし其立金三分は官廳に對する積立保證金として提供し置く事にし來る十月頃より愈々開所の豫定なりと云ふ而して其營業方法を聞くに矢張り內地の如く仲買人を置き二千圓の積立保證金を供託せしめ取引のある每に確實の担保金を提出せしむる組織にして此の仲買人は普ねく淸商人をして衝に當らしむるてとゝし取引の物品は豆、豆粕、豆油、綿絲、綿布及び銀塊にして最初に於ては先づ一二種類を限り取引に上す計畫なりと云ふ此の計畫にして果して當局者の豫定通りに實行せらるゝに於ては目下個々獨立に活動せる當市場は後來一層秩序ある光輝を發揚するに至るべし想ふに由來支那は慣習の久しき諸般の取引は個人獨特の發達に任せある事故愈〻之れが取引所の實蹟を擧げむと欲せば當局者間に幾大の困難を感ずる事尠からざる可し否實力の上に於ては多少官憲の庇護に依らざれば亦取引所として一個の名目に終る事なきを保せず最さには過爐に對する注意あり多少官着の氣運に挽回せられつゝある此の市場に更らに完全の秩序を維持せんと欲せば吾人は更らに夫れ以上の庇護あらん事を望んで止まず

滊船彙報

▲滊船カウス號一昨日午後一時三十分上海へ仝北平号は乘客二百五十名を積んで仝日午後五時五十五分仝芝罘號は乘客百二十名を積んで仝日十二時四十分ランチヨウへ何れも出帆せり▲滊船松浦丸は一昨日午後四時半乘客百名を積んで天津へ向け出帆せり▲滊船中國丸は仝日午後一時乘客八名外雜貨數點を積み込み大連へ向け出帆せり▲昨日午前碇泊滊船現在數は合計八艘なり

一往一來

▲滯在中の步兵少尉木川貞輔氏は一昨日奉天へ向け同磯田臣公氏は同日旅順へ向け出發せり

日報俳壇

野梅選

課題　集句選　兼九

○午寐さめて默然たる事しばし　老兵
、推敲の句ならずして午睡かな　同
、拜殿やひる寐の腕を蟻の這ふ　同
○滊車の出る迄を盧生の午睡哉　同
○砂踏んで戻つて來ては晝寐哉　同
、御手洗に蟬羽根つくる涼さよ　同
雲の峰牛の涎もつきん日に　同
○また早續くか高し〳〵もの峰　半百
一日に千變萬化なり雲の峰　同
○人間はば大將午睡と答ふべし　同
枕打てひる寢を起す娘かな　琴乙
數の蟬はげしき聲や森の中　雪友

價の物貨要重

穀物相場（五日）

青豆	一石	兩 七、〇〇四 錢
黃豆	仝	七、〇〇一
黑豆	仝	六、〇〇九

綿布相場

大鹿	一疋	兩 四、〇〇八 錢
卷狗頭	仝	四、〇〇六
益大牛	仝	四、〇〇四

眞馬		
老人馬	一疋	兩 四、〇〇五 錢
金奎鼻布	仝	四、〇〇五
藍園龍票布	仝	六、〇〇〇

綿糸相場

九龍	一梱	兩 七六、〇〇 錢
彩美人	仝	七四、〇〇五
人担茶	仝	七五、〇〇
紅人竹	仝	七四、〇〇五
四童人	仝	七四、〇〇

內地向	圓 一〇二、
上海向	兩 七一、〇五
天津向	一〇三圓五〇
芝罘向	一〇三、五〇

（正隆銀行）

（軍票百圓）（銀百弗）

淡谷
本號開設營口東靑堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小標子廿四尺栢木大杆木板此木材出售

晴

營口天氣豫報　自十八日午後六時至十九日午後六時

小説

市松格子（六）

ふみを

「道さん、道さん、確乎おし、分明るかい。道さん。」
「奥さま、旦那樣が被來いましたよ。奥樣。」
右左から聲掛け、覗き込めば、まだ七日許の病床ながら、著るう瘦さらばうて、只さへ弱々しい面相の一際見てゐる瀨もないやう。恍惚と目を見開いて一渡り懶げに見廻したが。
「……私は、もう、と、とても。」
言葉さへ舌に乘らず、何やら頻りに云はふと急り急り、僅に
「……旦那樣。」と聞取られたので
「玆にゐるよと」手を握らせる
其際にぱつちりと見張つて、お島の顏を見ながら「お嶋さん」とも云ひ得ず
「難有う……。」
片頰に笑を洩した儘に、やさしい道子は昏々と眠るがやう。

斯して道子は二十七を一期として眠るがやうに死んだのである。ありし姿の名殘かや胸に搔き合はせた手のその儘に色もあせて
「……私はもう迚も……。」とまだ耳にその聲の殘つてゐるかと二人は顏を見合せたが、一度逝いた亡魂の今いづこをか迷ふらん。
鳥部野に殘る烟のいつまでか、いゝかでと嘲たん、何くれと後の弔いとなむのも夢見るやう、門前一片の火に昨日のいまを思ひながらも達雄は遠い名古屋の道子が親許へ委細の文認める側にお島は、もの片寄せて、まめ〳〵しく取まかなふ。
「島ちやん、これ投しといておくれ。そしてその歸途に柚餅を買つて來ないか、お茶でも容れやうぢやないか。」
「はい。」
まだ此家に入つて一月も經たぬけれどお島ちやん、お島ちやんと、あれほど優しくして下された奥樣がと又しても思ひ出して、早けふはその人の死を知らせの文かと悄れ〳〵……。
出でゆく跡を見送りつゝ、達雄は猶更、ゐたゝまれぬほどの寂しさ、昨日までは人も出入り、いろ〳〵との營みに稍まぎらされてゐたれど、けふは朝の程から、宛然、奥山に庵組みて松風の音、猿の聲を友とするかと思ふ。布巾して机を拭き、自ら、箒とつて其邊掃き捨て、扨机の前に坐つて見ても我身を我と持ち扱かふ。
「只今。」と優しく風呂敷包傍に置いてお茶入れやうとしてゐると。
「郵便投してくれたか。」
「はい。」
「どうも寂しくてたまらない、島ちやん、當分何もしないでもいゝから、始終玆に居てくれ……。」
「はい、ほんとに、嘸お寂しうございませうねえ。私でさへ、何やらものを忘れでもしましたやうで、何をしましても、失敗ばかりいたして居るのでございますよ。全くゆめのやうでございますわ。」
「……。」
「柚餅買つてまゐりました。」と差出すと所在無げに手に取つたが、急にわつさりと
「さ、」と茶碗手に取上げ「死んだものは仕方がない。」
から〳〵と笑ふほど猶氣の毒さ。

雜報

●官署の公用書を引破る　目に一丁字も知らぬ悲しさとはいへ官署の公用書と情夫の玉章とを間違へ早合點して引破り返事を認め情夫の名宛して使を返し飛んだ間違から官署より大目玉を頂戴したる古今未曾有の珍談は元神廟街坂井病院の裏手に長崎屋とて餘り世間には名の知れぬ小料理店あり此家に酌婦を爲せる海部チノ（二八）と云ふ印度より舶來の美人あり色慾亡者の多き當地でさへ餘り手折りし助平殿もなかりしが、そこが所謂合緣奇緣蓼喰ふ虫も好き〳〵とやら何時しか當郵便局に勤務せる獨活の大木とか云ふ男と深くも契りを結び今日此頃の暑氣にもお厭なく日々二三回宛某所にて逢引し互に末を樂みに勤め居りたるが過ぐる九日の事なりき某官署より料理店組合事務所へ何事か照會の必要ありしとかにて一通の公用書を支那人ボーイに持たせ遣したるに如何なる間違にやボーイは長崎屋に該公用書を持ち行き前記チノの店先に居りしものに手渡したるにチノは情夫が豫て話の無心狀ならんと早合點し封を切りたるも假名文字のなき爲め讀む事の出來ざるも其儘引破りて取敢ず左の如き返書を認めボーイを返したりと云ふ

おてがみはいけん仕候　たゞいま金と申しては一厘もこれなく候ゆゑ今ばんふるぎには候えどもお召しの袷一枚じさんいたし候あいだそれを質屋にでもあづけなんぼうか金をかりますから今ばんまでおまちくだされ度候いづれお目にかゝりくわしき事は申上候
長崎や内　海部チノ
たいぼくさま　まゐる

斯く認めて使の支那人を歸らしたるにボーイは該書信を恭しく持ち歸り係り官に渡したるに係官は早速封を切りて書面を一見したるに豈計らんや前記の如くお安くない玉章に一時は驚きたるも段々ボーイに聞合したるに全く家を間違はせし事判明したるもそれにしても不埒なるはチノなりと早速チノを召喚して種々取調べたる所全く假名より外は知らざる爲め情夫よりの手紙と誤解し開封したる次第判明し將來を戒め放還したりと云ふ

●旅館業者の注意　滿洲各地に散在せる各軍隊は漸次撤退せると同時に是迄の兵站司令部も今は廢止となり自然各守備隊の軍人軍屬の旅行先きの止宿は其附近の旅館に指定せられ宿泊せしむる事となり當地の如きも七八軒の旅館に對して軍政署より指定せられ各方面より續々才營せるが中には往々浴衣其他の日本手物を貸與し夜中散歩せる軍人もある由にて是等は軍隊の規則として規則違反の行爲なれば外出等の折には決して貸與せざる樣萬一違反者ある時は或は指定旅館を差止めらるゝ事あるを以て此邊充分注意すべき事肝要なり

●遼陽本願寺の活動寫眞　從來專ら軍隊慰問と其布教に從ひつゝありし遼陽の本派本願寺出張所は居留民に接近する端緒として去る十四日同地日本人會事務所構内に於て活動寫眞會を開催したるが午後八時開始したるに九時頃は立錐の餘地なき程觀覽者を以て充され入場者は無慮千餘名と注されぬ中にも清國官紳の妻女を携へ觀覽し居りしは最も人目を惹き一影一動眞に逼まる所拍手喝采の好評湧くが如く盛況を極め午後十一時散會したりといふ

●日曜說教と追悼法會　當地本願寺出張所に於ては本日午後一時（營口時間）より營口佛教婦人會員某子の追悼法會を修行なして又寺本布教師より一塲の說教あるべく次で又午後八時半（營口時間）より日曜說教あるよしなり

●大角力と本社懸賞

今大江山、手柄山一行の大相撲は當地に乘込みしより日々非常の人氣にて當りをとり居り己に本日を以て打上げの豫定の處最負筋の勸告に隨ひ明日より更に向ふ三日間興行することゝなれり就ては我社も斯道獎勵の爲め

別染 **濱縮緬浴衣 一枚**（玉井吳服店寄品）

初日より打上げ迄の**全勝力士**に賞與することゝし幕内幕下に限らず二名以上全勝者を生せし際に於ては受賞力士撰擇方は之を頭取に一任することゝせり
參考の爲め初日より一昨四日までの勝負表は左の如し

東の方

手柄山	○	○	○	○
鶴ヶ嶽	▲	○	○	▲
鷲ヶ濱	▲	▲	○	○
松ヶ枝	▲	○	○	▲
白藤	▲	○	○	▲
鶴の森	▲	▲	○	○
碇の	▲	▲	▲	○
八幡山	▲	▲	▲	○
甲州山	▲	▲	▲	○
綠松	▲	▲	○	▲
明山	▲	○	○	○
いろは山	▲	▲	○	○
早汐	▲	▲	▲	○
若碇	▲	▲	○	○

西の方

大江山	○	○	○	○
玉の森	▲	○	○	○
猪王山			○	
小松山	▲	▲	○	▲
鳴戸岩	○	▲	○	▲
照日山	▲	○	○	▲
鳳凰	▲	○	○	▲
友碇	▲	○	○	▲
紀國山	○	○	○	▲
大ゝ潟	▲	○	▲	▲
水雷	▲	○	▲	○
夕暮	▲	▲	○	▲
增井川	△	○	▲	▲
加古松	▲	▲	○	▲

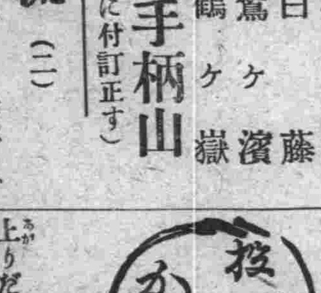
●本日の取組（五日目）　是迄夜間興業の所本日は日曜日に相當するを以て午前十時より開始すと云ふ其取組は左の如し

八幡山	甲州山
友碇	紀國山
碇野	鶴ケ森
照日山	鳳凰
鳴戸岩	松ケ枝
小松山	白藤
猪王山	鷲ケ濱
玉の森	鶴ケ嶽
大江山	手柄山

（昨日取組番附は誤りに付訂正す）

●風流（二）

▲一九と叩々老人　死せる孔明は活ける仲達を走らせ死せる一九は死んでまでも人を馬鹿にす彼が今更の辭世に
この世をばどりや御暇にせん香のけむりと共にハイ左樣なら
と實に其洒々たる事驚くの外はない、されとは何遍讀んでも面白き膝栗毛の作者十返舍一九とて世をお茶にする大茶人、死んでも人のお臍の釜に茶の湯をたやす事ないか病んで將に死なんとするとき、門人に向つて大笑して曰く「大に笑ふべし笑ふべし、笑ふ門には福來る死んでも地獄に行く氣遣はない、就てはこれはおれが秘藏の寶必ず遺骸と一伴に火葬にして呉れ」と門人苦笑して其言の通りにすれば不思議にも屍中より數道の火光翻飜として迸るので皆アツと驚きては只事ならずと檢めて見ると、こは如何に玩弄の花火數本を其體につけて居たであつたと
此處に又三國一の富士の山程借金駿河の叩々老人なるものがある、老壯より出て、狂禪に入り、彼はお茶是はお酒と世を遁せし人なるが、さけさけお酒か餘程好きと見ゑ、有つても無くても酒屋の前は素通の出來ぬ質、爲に借錢にまわらぬ首を酒さへ見れば龜の子のやうに仲ばして沽石に借金取りは來はせぬかと、燈火も細き身れは破れ行燈一つに「今晩留守」と大書し傍に藏六先生をキメ込んでチンと由る、債主笑ひながら「先生如何て御座る」といへば「ハイ今晩は留守でござる」「先生あまりそれでは御戯れが過ぎる」といへば「イヤサ先生の口から留守だといへばこれ程の確かな證據はないさ」
或る日小兒が幽靈の形を紙にて造り、木の枝に釣るして、夜中行人を驚かさんとするを見るや「そんな事で人が驚くもんか我れ自ら幽靈となつて人を驚かしてやらんと態々丈餘の竹馬を作り、白地の浴衣を引きづけて夜中森林を徘徊して居たに偶々士あり大喝一聲刀を拔きて之を逐ふ、老人驚いて許せ許せ巳だ巳だと周章狼狽竹馬より落ち、したゝか腰骨を折じきたるか遂に病床に臥して起たず其れでも先生洒々然として辭世の歌か面白い
五斗はおき後生も乞はぬ我腰を折りて今日ハイ左樣なら



▲流暢な東京辯でいらしやるから充分の尊敬を拂つて奥樣應對をした處が豈測らんや旦那の御留守中には眞瓜の買喰ひの淫賣上りだつたので僕は正夫人、滿妻、貴女の三票牌を制定して營口婦人の胸間にぶら下けさす事を希望する（某生）▲此度の角力取さん中で妾しの好きなは玉の森關だす體とうです（西の女）▲春濃さんたいへんよい御教訓を下されまして妾ほんとに御慕しう御座いますわ、あなたの御說の通りですけど、そこが女のせま心どうも致し方御座いません、いつか御目もじの上ゆつくり御話聞くとして樂しみましよう（有情の女）▲文藝倶樂部第拾二卷第十一号トートー發賣禁止をは食つたか無理も無い事だ該號中のノロケ箱は眞に讀むに堪へない（春濃）▲僕は非「クリスチャン」だ然し急に教會へ行き度うなつたのだ夫の原因かね、夫れはわかつて居るさ美人が澤山行つて居るからね（稠而郎）▲むらさきの君へ……無味乾燥の營口に俳句會とは面白い吾輩もズツト以前から是れ有るを待つて居た派の新舊を問はず、人數の多少を論せず平民的の會合を催して沙や女以外に淸涼な俳味を得て見たい（いが栗坊）▲日の丸亭の女郎仲居の御せじのまづい事そうぞうしくて聞かれない（浪花十八番）▲先には修學旅行中の學生監督者に赤痢患者を出し今又鐵嶺帝國領事館の巡査にコレラ病の發生者を出した兩者とも監督す可き職掌にありながら自ら傳染病の手本を示すとは不心得も甚だしい（春濃）

廣告

告示

八月十七日第九回捕鼠懸賞抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し
一、當籤者賞金受領に付左の通り心得べし
當籤者八月廿七日迄に衞生局に至り當籤札と引替賞金受領すべし若し此の期限を經過するときは其當籤効力は無効とす
賞與額
一等銀五十圓　二等全十圓
三等全二圓　四等全一圓

譯文
八月十七日第九回捕鼠拈鬮施行者開得彩號目自示之后十日卽八月廿七日以內其得彩者各携爾籤執照往衞生局領銀可也若過期未來領銀時將來其票爲歸廢爲此特示
一、定爲
頭等銀五十圓　二等銀十圓
三等銀二圓　四等銀一圓

第九回捕鼠懸賞抽籤當籤番號

一等	二等	三等	四等													
一四九九	一三六四	三七〇	一五九六	一一六	七九六	一四五一	六七七	一一九九	二一九六	二二三三	一〇五二	二三五一	一七二九	二四四九	二三四七	一三一八
一五六五	九一五	一三三五	八三三	一一七〇	五九八	一七六	一〇〇八	四〇三	二二〇五	二二〇三	一二九四	一七二五	二三八七	一九一八	一〇五一	
二二〇一	八〇八	一三六七	三六〇	一五七八	二二〇七	一〇九九	二三九四	一六八二	一三四四	一三八八	一六三九	一〇七〇	二二一九	七八七	四二九	
一六六七	一一〇八	一二四七	一八二四	一一二四	一〇四七	二二〇三	二〇〇九	一七九〇	九〇〇	一五五八	一一〇三	二二三三	二四二七	一七九二	一七七〇	
一九〇三	五二三	二三四九	一九一一	二三八七	一六〇〇	二〇八四	一三五五	一一六七	二〇二四	二三四二	二三三三	一七八八	一八五〇	一三九三	五六〇	

以上

社告

一週年 大福引會豫告

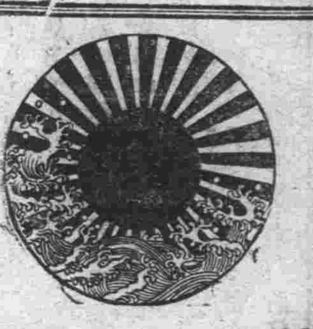
今回本社創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に**大福引會**を催し多數の讀者に**一人も漏れなく景品を贈呈する**方法を採ることに致しましたその景品中の重なるものは

一等 **金時計**（大賞堂保險附）　一個
二等 **貴婦人用帶地**（白木屋吳服店）　一筋
三等 **純金指環**（大西白牡丹製）　一個
四等 **上等洋傘**　一本
五等 **縮緬兵兒帶**　一筋
六等 縞毛布　壹枚
七等 フランチル單衣地　壹枚
八等 勸業貯蓄債券　壹個
九等 卷煙草入　壹枚
十等 言海　壹部

等であります、（十一等以下は漸次發表します）月極讀者は勿論、後滿**一ヶ月以上**本紙愛讀の方には周く**福引券**を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追々と我紙上に掲げます

有志家寄贈副景品
▲白米一俵　第三樓
▲八丁味噌（大樽）一丁　金城館
▲手拭十反　日本館
▲エジプト紙卷莨五箱　第一樓
▲濱縮緬上等兵兒帶一筋　奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個　醉花園
▲玉突券五十枚　第二軒
▲平野水四ダース二箱　東邦亭
▲エジプト紙卷莨二箱　三日月樓
▲澤庵積一樽　公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース　東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース　大和館
▲敷島紙卷莨二十入三箱　萬直し
▲上等西洋料理券三枚　牛莊ホテル
▲リンチル上等洋服一着　富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚　祇園閣
▲置ランプ三個　二友洋行
▲吳服券三枚「五圓、三圓、二圓」　玉井洋行

滿洲日報社



廣告

スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尙夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等 麥酒スペシャルライト

本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元 大日本麥酒株式會社

滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部 (電話五番)

分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

りん病せらかち ボーコーカタル 即ち花柳病の特効新藥

(醫藥學細菌學應用 萬國陸海軍局方參照) 登錄商標

THE RINBYOGAN 一回一九 一服一用

博士

御典藥 複方 麻病丸

藥價 三日分三十戔 七日分五十戔 十五日分壹円 小包料十戔

韓各有名藥店取次全國各地及清

本家 大阪江戸堀下通三丁目 (電話西千五十九番) 安々堂藥局

複方 痳病丸 (白濁羹)

此藥嵩治白濁五淋赤白帶下及痳病初起之腰痛發熱痙攣疼痛男子生殖器病女子子宮病服之應手奏効不可疑聖藥也宜用嘎洛不洛散洗淨患處則奏愈速

批發所 營口警務課東隣永世街 回天堂大藥房 電話百九十號

新荷着

裝飾用簾 洋食用品 肉碎器 秤卅六貫以下種々 手提金庫 コツピー用附屬品

窓掛及附屬品 夏帽子各種 戸田式濾水器 宇治新茶 ワイシャツ及カラー 學校用文房具各種 各種復寫簿

關東公司雜貨部 (電話五號)

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす

○全身魔醉○局處魔醉○嶄新器械○無痛手術○

○梅毒○婦人科○外科胃腸病專門 日本醫院

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜ラムチ、橊柑水製造販賣並に清酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類

特にラムネ及橊柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す

遼陽西門外街 林洋行

大和館へ轉宿す 遼來洋行員 高間彌之助

雜貨 洋酒 煙草 卸シ 小賣

大連 南洋 湖北 彩票 販賣

營口 (周) 西北街 裕和盛 電話八一

鑵詰 紙 化粧品 特ニ安賣

東清鐵道 遼河 貨物 運送

御料理旅館 三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二楷屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候 以上

樓主 川上總吉

會席御料理

座敷は高尙閑雅御料理は原料を精撰致し風味佳良に調進可仕最も美形の粹を極めし御取持は申も愚か殊に御手輕は弊亭の特色に御座候間御安神被遊續々御光來の程偏に願上候

豊濟門街 柳亭

二白琴藝妓をも內地より呼寄せ申候間御愛顧願上候

開業御披露廣告

遼陽城外西門外街西へ入 和洋御料理 遠山館

今回當樣方の御勸により遲れ勝に開業仕候へ共料理と勉強く遲れぬ樣にと精々注意可致美形と待遇とは決して殊に一棟は西洋料理室の專用に充てコツクも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候以上 敬白

旅館御料理 東來館

遼陽陳家街破所東へ入た側

大勉強は本館の特色

近江病院 永世街二本町

院長 近江周友

副院長 增田八郎

內外科梅毒婦人科眼科胃腸病專門

午前宅診 午後往診

入院治療も諾す

但輕便入院法あり來談を乞ふ

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼陽城外喇嘛塔下 遼塔ホテル

仝城內東街 遼東館

仝城內西街 滿洲ホテル

仝城外喇嘛塔側 浩氣館

仝城外西門外通 藝陽亭

仝上 遼陽館

仝城內東街 東洋館

仝城內北街 滿洲館

仝城外西門外通 梅廼家

靴製造并に修理

右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也

營口元神廟街郵便局官舍向ひ 桑田靴店

料理店

平野町 滿月 (二六一番)

平野町 滿月支店 入口 店主 青木惠

牛莊松岡病院

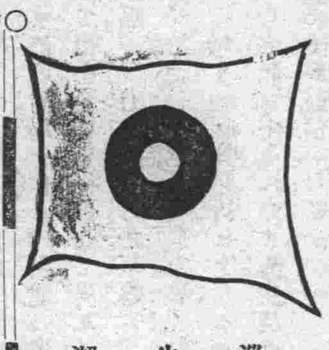
內科外科眼科婦人科診療

入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す

元神廟街第百三十四號

全科醫士 松岡玄雄 (電話一五一番)



巡航瀛船取扱元 元神廟五十五号

牛家屯營口間曳船業

瀬取貨物取扱業

東省巡航公司 (電話二百三十六番)

御旅館 旭ホテル

家屋の宏壯と待遇の懇切と料理の精良とは當ホテルの長處

二百人迄の御宴會に差閊なし

場所は牛家屯行輕便鐵道の央

青堆子新市街 (電話二三五)

御料理旅館 扶桑館

奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号

館主 堀田ハル 電話 号

內科外科眼科 梅毒婦人科 耳鼻咽喉科

殊に外科は總て無痛手術を施す

永世街第五十二號 藤井醫院

盛海洋行

玻璃 玻璃器 洋燈

營口永世街

法學士辯護士 値賀連

大連大山通二丁目三十一番地

目下當地左の出張所に居住す 營口永世街第三號ノ二 (金城館ノ南隣)

會席料理 三日月

營口警務課前南江入る

加藤洋行新着品廣告

營口丸着荷

文房糊、複寫紙、手帳、ペン洗、國旗、手風琴、フートボール、莫大小シャツ類、沓下、手袋、ハイカラタオル、ダンス石鹸、剃刀、額緣、下駄、栓拔、錠前、金庫、マット、孔雀印平野水、グリーンピース、ソース、辛子、密柑其他の鑵詰類

販賣部 (電話八十番)

◉煉瓦販賣

上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ

二本町 高坂洋行 煉瓦製造部 (電話九十番)

宮門抄

二十四日

商部　鑾儀衛　廂黃旗值日無引見　端方謝賞匾額　恩興伯假滿請安　陳兆文續假二十日　端方劉若曾伺候　召見　內務府奏派致祭四廟　派出德壽　恩輝　慶麟　英俊　又奏派致祭內外城隍廟　派出英瑞　文熙　掌儀司奏二十八初一日祭奉先殿　倫貝子行禮　召見軍機　端方　劉若曾　練兵處　商部遞封奏各二件

上諭恭錄

二十四日奉

上諭承祜現已補授內閣學士着仍在軍商機章京上行走欽此

旨商部右丞着楊士琦補授熙彥着轉補商部左丞議商部右丞議着耆齡補授欽此

奏議

刑部奏嚴定僞造郵票並冒用舊票等項治罪章程摺

奏爲嚴定僞造郵票並冒用舊票等項治罪章程以杜弊竇而維郵政恭摺仰祈

聖鑒事光緒三十二年正月十九日准外務部咨稱據總稅務司赫德申稱廣東省城近有舖店六家串通郵差私將蓋戳之舊郵票洗去印迹復用藉圖混騙並查出積存兩年未發之郵信千餘封當將犯事各店及郵差送案嚴辦惟查冒用舊票私淹信件之案如在西國均有定律罪與鑄造贋幣同科是以犯者從不多見今中國郵政章程中尙無此項條例誠恐不免效尤應請飭令各省凡遇有洗印已用之郵票希圖冒用漏納購買新票之資費或故意積壓信件不遞者從重比例懲治申請核奪示覆施行等語查西國郵政於舞弊等事定例綦嚴中國郵務甫經推廣尙未定有此項條例此次廣州已出有洗用舊票及積壓信件兩事嗣後若不嚴定專條通飭各省以儆將來實於郵政新機大有妨損請查照前因比例酌定治罪專條等因知照前來臣等查郵政之設將及十年近日逐漸推廣不特郵寄商民函件頗見信從即機密文報亦俱藉以郵傳往還極稱便利惟自來利之所在日久弊生非設法嚴防不足以導新機而維郵政玆據外務部咨稱興據總稅務司中稱廣州已有洗用舊票及積壓信函等事擬請嚴定治罪專條係爲維持郵務以儆效尤起見惟該總稅務司所稱此等案件在西國均有定律罪與鑄造贋幣同科等語則殊未盡然檢查俄律如僞造郵政封筒及信票以僞造印信關防鈐記論發往西伯利亞安插或交敎養局習藝故意積壓藏匿信函文牘者罪同德律僞造郵票處三月以下之禁錮美律凡僞造郵票及其底板或知情使用販賣或持此以冀使用販賣或擅造郵票及其底板或授與不應受此之人者科五百圓以下之罰金或五年以下加苦役之因獄或因獄與罰金併處日本法律規仿泰西其郵便法內載僞造變造郵政信封印花及印片或知情而行使者處五月以上五年以下之重禁錮將郵便物私用盜賣抑留隱匿或拋棄者處一月以上二年以下之重禁錮以上各國於郵政舞弊俱未科以僞造貨幣之罪良由貨幣通行全國郵票僅印稅之一端僞造郵票與僞造貨幣作僞雖同而被害區域有廣狹之分即科罪有輕重之判也郵政關繫極重將來新律自必斟酌情形詳定條款而現行例內並無治罪恰合專條查郵政事隸稅關而郵票僅止蓋用局中戳記與部頒之印信關防鈐記不同若如俄律竟以僞造印信關防鈐記論未免過重若用德律僅處三月以下之禁錮又覺太輕惟僞造郵票之人其意止在欺騙圖利與用計詐欺官司以取財貨者無異至積壓信件雖與沉匿公文不同第現在郵政已隸於官即非尋常商局可比且亦有公家文報在內應一併酌定暫行章程俾資遵用臣等公同商酌擬請嗣後僞造郵票及信件已成者計贓准竊盜論罪止流三千里其僅止洗用舊票減一等爲從及知情行使者又各減一等若郵差將郵寄公私文報信件沉匿者比依舖兵沉匿公文律一角杖六十每一角加一等罪止杖一百事干軍情機密文書而沉匿者不計角數徒一年有所規避者從重論以上徒流照新章收入習藝所工作杖罪罰金似此明定治罪專條俾奸宄知所儆畏不敢舞弊而郵政益推行盡利矣如蒙

俞允即由臣部通行各省一體遵照所有嚴定僞造郵票並冒用舊票等項治罪章程緣由謹恭摺具陳伏乞

皇太后　皇上聖鑒謹　奏奉

旨依議欽此

中外要聞

●趙帥謁陵後之桔梗會　瀋陽函云奉天將軍趙次帥於西八月初七日偕同日本總領事萩原君各隨員幕僚赴東陵祭國朝寢陵有馬隊數十名警護前後上午八鐘時出軍門路過農事試驗所考察該所一切然後前往東陵茫茫平原一望禾黍萋々青青高沒人影近郊居民但聞馬蹄戛戛風聲鶴唳以爲馬賊大舉而來實不堪一唾正午到東陵少歇之後趙次帥先赴太宗高皇帝　廟前自披屏入內與衆行禮禮畢退在樹陰開宴酒三行宴正酣有日本總領事隨員長尾君折桔梗花分與衆人提倡曰以此歡會爲起點從此而後設桔梗會以聯中日之睦誼衆皆歡迎贊成議擬每月開會一次以聯親睦賓主歡洽談笑如湧薄暮盡歡而回趙次帥以及其餘隨員是晚赴萩原總領事之宴再盡歡而散云

●粵盜又刼英輪　聞廣東電云月之二十二日有英輪雲佛號駛過西江在梧州附近被海盜突擊刼掠水手數名亦受傷現由英駐粵領事向岑督強硬抗議並由粵督派兵剿辦云按日前有英商太古洋行輪船在西江被海盜刼掠大動各國公憤英德等國照會外部嚴詞警告然尙未匝月今又聞此愕耗如各國堅執前言與我國交涉則當局諸公答以何詞嗚呼政府不速設法實力剿匪或恐禍根出于不測終至損失主權矣

●出洋大臣奏對立憲情形　出洋考察政治端大臣連三日覲　兩宮召見垂詢各國情形與中國立憲辦法聞端大臣奏對云環球各國多主立憲俄素稱專制近亦改革蓋立憲政治能使國家享萬年鞏固之基礎而君主有永無失墜之尊貴云云　兩宮頗爲喜悅又適至　皇上萬壽特賜端大臣御書匾額以示優異

又接一函云端戴兩大臣日前召見時力言通察各國之內政多皆由立憲而收其效果蓋憲政一行則上下情相通而內患自然消解內患既消則外憂自難乘機而入惟我國民程度尙低加之守舊者動輒阻撓新政故現在欲行立憲之政體祇宜適中而行不可過於更變蓋恐蹈欲速不達之弊云云澤尙端戴四大臣聞均以振興海軍恢張海權爲現時之要着

●美不認採礦合同作廢　日前外部照會駐京美使柔大臣聲明美商劉承恩私租義州煤礦與商部礦章不符應將契約作廢一節已誌前報茲聞美使柔大臣照覆稱據該商申請已稟盛京將軍有案並非私租所有將該採礦契約作廢一事決不承認

●奉天紙盤近情　海紙一物專作冥資所用產自閩省由閩浙兩省帆船陸續運營銷售往年銷路暢旺隨到隨通今夏所到紙數尙未過額其奈寬城船廠等處積存猶厚買客覺稀由四月間到貨一直未議正價連陳帶新共積二十萬塊始於六月初旬集衆議價開盤一盤計數八萬餘塊其上字號義和義發配搭每塊價銀一兩五錢五分刻下照此價値南商不願再賣蓋緣尙虧血本是以留待秋後出售以冀增價云

●擬設張獨多道　聞政府以京張鐵路告成後張家口商務必日甚一日須設稅關故議設張獨多（張家口獨石口多倫廳）關道一缺駐紮張家口以資照料

●咨查電機功用　商部咨各首督撫略謂昨據洋商函稱機器運動向恃煤力欲開一機必須將汽磅燒足全機皆動縱有機括可以啓閉而所賣煤火並未減少則虛耗實多近年東西洋各改用電機新法平時製造所用電力度數視所開機器部數之多寡全機不爲掣動比煤力所省數倍如中國仿行願效力承辦等語查機器改用電力新法裝成器具成本輕而利息厚非比從前全恃煤火開用一機所耗與全機無用該商所議甚是惟現在各省機局能否仿照試辦計可省費若干合亟請酌核見復

●奉天要事近報　遼東半島金州貔子窩地方前有馬賊勢極猖獗時出滋擾已由關東都督府派兵剿討刻已一律肅清地方頗形平靖

奉天將軍趙次帥擬在安東縣創設森林學堂造就學生以便採伐木植刻正在籌欵之際

錦州府屬大虹螺山一帶有匪滋擾一節已誌前報茲聞已由孫太守派兵剿伐匪類潰竄刻止在派兵剿辦餘黨之際

●調查奉省繭絲　奉天所產繭絲係放蠶子於柞樹葉老而蠶大所吐之絲係粗而色黯因名之曰灰絲其所產之區鳳凰廳安東縣寬甸縣懷仁縣遼陽州復州岫巖州海城縣蓋平縣等處產絲之廣莫如岫巖而集絲之多首推蓋邑也約計繭綢三項奉皆每年能得銀六百萬兩絲歸上海賣於洋商者居多繭歸山東昌邑縣織綢者居多綢名山綢亦曰繭綢織自蓋不等處而銷於四外者也

●各欽使恭賀萬壽　二十六日因恭逢

皇上萬壽聖節各國駐京欽使參贊等進呈名片于外務部以誌賀悃

●請購龍旗　二十六日爲我四百兆同胞之　大皇帝萬壽聖節學堂官署及各文明事業高揭　國徽所以表尊君愛國意也今板章胡同富華織布公司有見於此特製大清一統龍旗橫五尺縱六尺統織成全幅兩面彩畫甚壯觀瞻以備士商購用

●擬添東交民巷租界華捕　官場人云自東交民巷天興錢鋪被搶後各國駐京星使會照會警部派員拿辦警部已照會駐京領銜公使云如嗣後租界內一律添派中國巡警再有搶案等情即由警部擔任其責

●政務處嚴密要公　聞政務處王大臣諭飭司員所有近日會議改良政治事宜關繫至重亟宜密秘務須嚴戒不可逢人說項以免宣洩而昭愼重

●飭營兵繳銷火槍　從前旗營綠營所用之火鎗前年經練兵處奏准停止聞現在欲將此項火鎗一律繳銷

●奏獎剿匪人員　聞河南巡撫有摺到京係奏保本年鎭剿西遂匪亂在事出力之文武員弁以資鼓勵

●備荒銀兩解京　鄂督張香帥日前咨照戶部文云湖北省每月提銀一千兩按年解部專作備荒經費爲順天賑撫之需現將光緒三十二年應解備荒經費銀一萬三千兩暫籌六千兩派委試用知縣曾紀清押解赴部交納已由鄂起程北上矣

●諭飭整頓關稅　聞日前軍機處大臣寄諭安徽巡撫飭將皖省蕪湖等關稅務認眞整頓並俟三十二年關期屆滿之時遵照戶部奏案辦理以本年所收之款供本年應支之項毋許絲毫牽混以防弊端而重稅款

●不准擅請免稅　聞商部堂憲議商本部前經奏定鐵路納地稅則業已通行咨照各省在案近日仍有奏請免稅者實屬不合應即再行咨劄各省督撫飭後無論官辦商辦各路均不得率行請免賦稅以重稅課而符定章

雜報

●城市白晝擾財　昨由錦郡來人云城內有大德俊字號前二日晨六點半鐘時着其僕役某甲向北關益源當行送交本城錢幣壹千餘緡用巾包括執而北行將近北關突然來一匪徒擾奪而去向北疾奔該僕嗷號追逐適有站崗巡警兵等協同北追究未見賊之踪影又言現下該郡城廂市鎭等處遍是巡警站崗諸兵隊該賊匪竟不畏法膽敢於郡城街市白晝擾財有地方之責者安可不加意整頓以期安輯商民耶

●軍帥遠見　昨有驃行等人由新民府來埠述該處近況云言該郡太守沈公決要將各驃行等一律裁免凡送商客貨財須由各鄉巡警等兵遞相護送便將驃行旗票一切追入衙署聞太守前曾爲此特赴省垣稟請軍帥飭論遵行云云傳聞軍帥所論該驃行等由來已有年矣其於商客保護財貨各相信孚故咸賴以安業若一旦全行裁免凡關東城鎭埠岸各處統約驃行人夫不下數千餘衆將同時失業此項民人何以謀生計耶玆事須從緩議驃行人聞之無不同聲感頌曾沾軍帥之鴻恩矣

●拯溺到官之風說　昨聞埠民傳曰本港東流有一民船於廻籦間將一船夥某甲撞墜河下時値落溜甲復不善水性乃於水中連次攢出漏頂仍復沉沒瞬息已去數十武之外他船持篙援救不得時河下岸上聚觀多人咸爲扼腕適有少年某乙素善水性且諳拯救溺人之法遂赤身跳於河內預於甲之西流淘泳水底頭攢甲之胯下肩荷而出纔乃升岸着衣詎有查街巡勇目見其事令甲乙二人隨其同往衙署二人悚懼不悉犯何罪愆逡巡從之東去一時觀者百喙紛紜言乙入水拾命救人反有罪過斯誠令人憤懣不平之事云云旁有識者爲之評曰爾等且休衆口囂囂斯蓋日本官憲早有傳諭遇有街市行人行其義舉救濟人命之流須該捕等引至衙署酌爲獎賞等情不然豈有拯救人命之人反獲罪戾之事耶衆等尋繹極似有理於是俱箝口不言分頭散去云

●懲警逆媳　玆有田莊台住戶使船爲生之孫五平日有季常之懼其毋年已七十矣九妻年四十許向不孝姑每有不供給飲食之事於月之十九日因其毋往鄰舍散心五妻怒甚百般罵詈正在喊鬧之際被西路稽查委員諾英氏聞知當時斥止遂詳悉訪查一晝夜之久始得一切細情二十一日派清哨弁帶兵丁一名直到孫五院內將五妻喚出房來明聲其罪告知四鄰重責該婦二百手板不但孫五母子感慨而鄰舍亦無不稱快二十二日有與孫五同街之徐某言其同院有王永海之妻素日與五妻同惡相濟人皆稱爲並雄今見有此官刑始知法律昭彰海妻自言日後定行孝道不然倘如五妻之樣臉面何存等語若按此一語可知人心自有廉恥若教育不能普及始難激發其天良耳有地方之責者皆如諸委員用懲一警百之法我知逆倫犯上之案定不復再見於今茲之後也

營口市價

豆油　八、八　麥粉　二、一八　太米　一二、〇八

淡谷木局

最高温度八十六度二　最低温度六十八度七

昨年より　高七度四　低〇度九

東淸鐵道

大連昌圖間 下り
大連發 前九時〇分 後六時〇分
南關嶺著發
瓦房店著發 得利寺著發 萬家嶺著發
鞍山站著發 遼陽著發 烟臺著發
鐵嶺著發 開原著發 昌圖著
虎石臺著發 奉天著發 蘇家屯著發
大石橋著發 蓋平著發 熊岳城著發
瓦房(?)著發 金州著發 大房身著
南關嶺著發 營城子著發 長嶺子著
南關嶺著發 大連著
營口線 下り
撫順線 上り
仙金寨著發 撫順著發

南關嶺にて乘換
大石橋 營口往復の者は大石橋にて乘換へ蘇家屯撫順線各驛往復の者は蘇家屯にて乘換へ

營口 旅館料理店案內
いろは順

旅館 料理　元神廟街九十六號　第一樓　營口ホテル

料理　永世街百八十三號　入船亭　谷初次郎

料理　營口永世街　一力　店主 堀万助

旅館　河岸通り　日營ホテル　店主 井上源吉

旅館　永世街八十六　東京館　店主 村上京四郎

料理　營口新市場前(電話一六番、四番)　東京樓　店主 熊田粂次郎

旅館　西北街百七十三號正金銀行西三丁程　東茂旅館

料理　元神廟街百三十三號　千鳥　店主 吉住善藏

料理　永世街百六十四號　沖の嶋　店主 中川彌三郎

料理 並に氷いろ〳〵　營口元神廟街　翁亭　店主 長谷川金次郎

料理　永世街八十六號　吉野亭　店主 坪田正好

旅館　西北街(電話一四五番)　高砂ホテル　店主 片山小みつ

料理　營口元神廟街　樂々亭　店主 武部貞

旅館　永世街三十四號(電話十一番)　大和館　店主 前田九一郎

料理　豊濟門街第百〇四番　萬梅　店主 島田彌助

料理　永世街字二本町　まんなをし　店主 和田常松

和洋料理　南永世街　公樂園

料理　營口平野町　喜樂亭

料理　平野町　都樓　店主 阪本ちか

旅館　永世街七號　東雲旅館　店主 谷口今朝太郎

旅館　營口永世街一六號　品川館

和洋料理　營口元神廟街一一三四　松月亭　店和 末松信太郎

料理 旅館　永世街百二十七號　醉花園　澁谷旅館　店主 澁田留吉

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿　奉天小西關大街北側　館主 河野嘉吉(電話□)　瑞豐館

會席御料理　奉天小西關大街北側　天神樓(電話□)
高等御旅館　溫泉付大勉强キレーヂチイシヒ　奉天小西關大什字南街へ入

旅館料理店　奉天小西關大街路北　日章館(電話□)

奉天兵站部指定 旅館　奉天小西門外大街路北　茂林館(電話二十五番)

御旅館　瀋陽館

御定宿　奉天小西關第五分局八一〇　第二東京館　館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑靜を主として旅館を專業に單ら御客樣の御便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理　奉天城內灰市街東華門宮殿東側　梅松館　館主 押尾富次郎(電話號)
今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚(鮨弁鮨蒲燒)等をも新調且つ仕出等致し御中喰には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願候

和洋御料理 高等　遼陽城內東街一八九號　遼東館　電話 號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街 ブツシ商會東　喜川鐵工所

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣く〳〵して大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町　日本館(電話百三十)
各位樣

奉天小西關新來當街々　御料理 本店　金城館(電話十九)
奉天小西門街大什字街　御旅館　金城ホテル(電話一〇)

料理店旅館擴張廣告

四方各位益々御淸榮被爲入奉大賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候處大方紳士紹商諸彥の御引立を蒙り日に增し盛大に赴き從つて家屋手狹なるを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來街に設け以て專門の料理店となし日本式大宴會(百人迄の設備有之候)並に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と淸潔とを主とし精々勉强廉價を務め可申候間倍舊一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候　敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は南方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街　御料理 支店　金城館(電話八三)
營口永世街　御旅館 支店　金城ホテル
大連市吉野町　御料理 支店　金城館
大連市吉野町　御旅館 支店　金城館

遼陽城內西街　御料理 雜貨　盛進館　井川商會　店主 北ツネ

和洋 御旅館 御料理　奉天軍政署指定旅館　奉天城內鐘樓南大街　奉天館(電話十四番)

奉天城內大南門裡大街　日淸倶樂部(電話十五番)
麵麭製造　西洋洗濯　靴製造　日本大工　理髮　裁縫
氷卸小賣所

一杉丸太長一丈より五間迄
一末口一寸以上八寸迄各種
一杉樅栂松板類各種
一大小押角挽角小割各種
一右廉價販賣
營口永世街　喜久洋行(電話一五二)

○板材木 ○蚊帳 ○金物類 ○金庫 ○疊建具 ○花莚 ○椅子テーブル ○ペンキ ○洋燈類 ○文具 ○鰹節雜魚 ○紙類 ○酢醬油 ○罐詰 ○其他雜貨色々
新荷着大安賣
(石)
營口西北街　石光洋行
遼陽西門外　石光洋行支店

(有)
土木建築請負　煉瓦製造販賣　有馬組遼陽出張所　遼陽城內西街
雜貨卸小賣　主任 海南右門

滿韓境上唯一樂園　五龍背溫泉
當溫泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、痳病等ニ特効アリ
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
溫泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新緑滴タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ

西洋料理
弊ホテル義は歐洲風の旅館にして玉臺ピヤノ及び應接室の設備有之御宴會集會多人數の御立食仕出しにも應じ尙御來客の朝食午晚に區別仕り候外一二品の御好みにも應し篤實に調進仕候間陸續御來臨の程奉希上候
進物用に適す料理切手發賣仕り五枚以上御買求被下候はゝ割引仕候
牛莊ホテル(遼河々岸)

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣
營口青堆子　加州組(電話八十六番)

土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣
營口青堆子綏定門外　志岐組 商業部

土木建築並ニ測量設計請負　營口青堆子綏定門外　志岐組

軍隊用雜貨　日用品雜貨　食料品種々　舶來品類
其外新荷着舶來品精々大勉强販賣
遼陽西門外筋　北原洋行

醇良日本酒　金露
大販賣　サツポロビール　孔雀印平野水
和洋雜貨　洋酒化粧品　奉天鐘樓南大路西　千賀洋行
酒類　食料品　奉天小西關大街路北　千賀洋行支店

石材 石灰 大販賣　英洽洋行(營口西北街)(電話三二)

ペンキ塗請負　營口豐濟門街二十一號　京阪組

臨時出張所　鐵嶺正金工場內　新民屯泰東公司內

金井洋行
盛進商行